

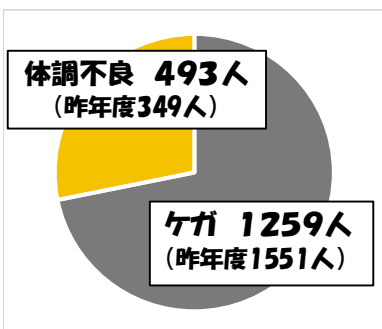


令和6年3月号
葉鹿小学校
保健室

校庭の桜のつぼみがだんだん膨らんできました。寒さの中にも春の訪れを感じます。本校では、現在のところ、感染症の罹患報告が減少してきています。しかし、油断することなく石けんを使った手洗いや換気等、感染対策を心がけてください。1年間、感染対策や保健教育にご協力・ご理解をいただき、ありがとうございました。



1年間の保健室来室状況

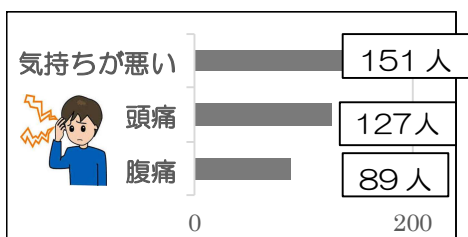
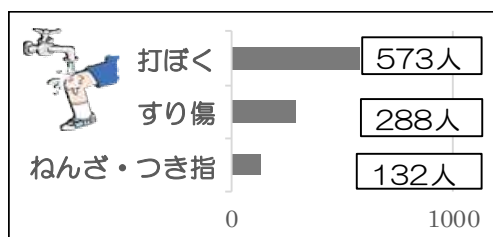


昨年度は、昼休み終わりのチャイム（予鈴）と同時に、昇降口に戻る児童が、どこからか飛んでくるボールにぶつかるということが度々ありました。「チャイムが鳴ったら、サッカーボールは蹴らない。ドッジボールは投げないでください。」と児童にお願いしたところ、保健委員と6年生が、予鈴後の呼びかけをしてくれました。その呼びかけに応じてくれた葉鹿小の児童たちは、予鈴が鳴ると、ボールを手で持って移動してくれるようになりました。すると、予鈴後のボールによるケガはほとんどなくなりました。

子どもたちの声かけでケガが減るというのはすばらしいことだと感じました。

1年間（4月～2月29日まで）で保健室に来室した児童は**1752人(昨年度1936人)**でした。ケガでは「打ぼく」が一番多かったです。次に「すり傷」「ねんざ・つき指」でした。以下は、本校の来室事例です。ケガの予防についてご家族で考えてみてください。

①落とした物を拾おうとして、机に顔をぶつけた。②ドッジボール中、手が出せず、ボールが顔にぶつかった。③おいかけて中、サッカーゴールの前に入ってしまう、シュートボールに当たった。④階段を下りている途中に足首を捻った。等です。体調不良で一番多かったのは「気持ちが悪い」です。次に「頭痛」「腹痛」でした。登校直後から「喉が痛い」「咳がでる」と訴えてくる児童がいます。お子さんは、急に体調が悪くなったり、高熱を出したりします。登校前の健康観察をよろしくお願いします。



登校前の健康観察をよろしくお願いします。

1年をふり返ろう！

「できた！」と思うものに
○をつけてね





聞くだけじゃない！



耳の大切な機能

私たちは、耳を使って音を聞き、自分の周りの情報を集めたり、コミュニケーションを取るために相手の言葉を聞いたりします。さらに、耳の奥には体のバランスを取るための器官があり、動きを常を感じ取っています。いつも大事な働きをしている耳を大切にしましょう。



耳元で大きな声を出さない



鼻をかむときは、片方ずつ押さえてかむ。優しくかんでくださいね。



耳や耳の近くをたたかない

あたりまえをありがとうに



これって
あたりまえ？



「あたりまえ」とは、そうあるべきこと（＝当然）や、ありふれていること（＝普通）という意味。一方「ありがとう」は、めったにない・めずらしいことを意味する「有り難い」からできた言葉で、みなさんが知っているように感謝の気持ちを表します。

3月9日は「サンキューの日」。やってもらって「あたりまえ」ではなく、「いつもありがとう」と伝えられたら、ちょっとだけハッピーになれるかも!?

4月から健康診断が始まります。

児童のプライバシーや心情に配慮しながら、正確な検査・診察を実施していきます。円滑な健康診断実施のため、保護者の皆さんにご理解・ご協力をお願いいたします。

①運動器検診 新学期になってから「保健調査票」を配付いたします。

特に「脊柱や胸郭の疾病及び異常の有無」については、**ご家庭で保護者による丁寧な確認をお願いいたします**。学童期には、原因不明で「突発性脊柱側湾症」を発症する場合がありますので、よろしくお願いいたします。「しゃがみこみ」については、春休み中に練習をしておいてください。

②心臓検診（1・4年生） 心臓の疾病及び異常の有無を確認するために、下着等の上からでは心臓の音が聞こえづらいため、肌に直接聴診器を当て聴診することになります。

★男女別で検診します。

★正確な検査・診察に支障のない範囲内で「体育着や下着等の着衣」又は「タオル等で身体を覆う」などの配慮をします。検査に必要な準備物の持参にご協力をお願いいたします。

